

行政支出総点検会議（第7回）議事要旨

1. 日時

平成20年12月1日（月） 14：00～14：45

2. 場所

総理官邸4階大会議室

3. 出席者

河村内閣官房長官、松本内閣官房副長官、宮澤内閣府副大臣ほか

【委員】

茂木友三郎（座長）、大塚宗春（座長代理）、秋池玲子、大戸武元、梶川融、巖信彦、富田俊基の各委員

【事務局】

安生徹 行政支出総点検会議担当室室長ほか

【総務省】

田中順一 総務省大臣官房長

【財務省】

丹呉泰健 財務省主計局長

【各府省】

各府省官房長

（主な議題）

1. 指摘事項案について
 2. 指摘事項手交
-

〔議事の経過〕

- 1 前回の会議での議論等を基に作成した指摘事項案について、事務局から説明した後、各委員の了承により、当会議としての指摘事項として決定した。
- 2 その後、各委員から指摘事項に関し、感想や各府省に対する要請等について、発言があった。主な発言内容は以下のとおりである。
 - 今後は、各府省が自律的にムダを削減し、成果を示すことが何よりも大切である。
 - PDCAを回す際には、民間の先進的な事例・ベストプラクティスを参考にしていくべきである。
 - 世界的な金融危機の中、日本が選択と集中を行っていることを世界にアピールしていくべきである。
 - 各府省は、自らの行政行為について、広い視点で国民に対して分かりやすい説明を行

っていくことが大切である。

- 支出において、透明性を高め、事後の評価をすることで本当に日本に必要なものを絞り込んでいくことが大切である。
 - 財務省は、平成 21 年度予算編成において、指摘事項の内容等を十分に踏まえるとともに、今後は、各府省が提出する予算要求について、執行状況を踏まえた上でしっかりと査定すべきである。
- 3 座長から、河村官房長官に対して、指摘事項を手交した。
 - 4 次回会議については、追って調整することになった。

(文責：行政支出総点検会議担当室 速報のため事後修正の可能性あり)